



citta
slow

MAEBASHI

この土地に培われてきた、あたりまえのスロー。

「スローシティ」を
知っていますか？

「スローフード」「スローライフ」なら知っているけど、「スローシティ」って？と思う方も多いかもしれません。「ファストフード」に対抗して、地域の伝統的な食文化を見直そうとイタリアで起こったスローフード、さらに生活全般に目を向けたスローライフ運動は今や世界的に広がっています。スローシティもそこから発展し、地域の食や農産物、歴史文化、自然環境を大切にしたい持続可能なまちづくりを提唱するものです。

前橋市はスローシティの精神に賛同し、平成29年5月12日に前橋・赤城地域（芳賀・大胡・宮城・粕川・富士見地域の一部）のスローシティ国際連盟への加盟が認められました。日本では宮城県仙沼市に次いで2番目の加盟です。

前橋市の何が「スロー」なの？

赤城山の裾野に広がる自然風土は、古来よりこの土地に住む人々に豊かな恵をもたらしてきました。スローシティにあたる赤城南麓エリアは、伝統野菜・果物の栽培に取り組む農業や畜産が盛んな地域。田園や点在する古民家も風景の一部として残したい地域の貴重な財産です。

赤城山には、ハイキングやキャンプなど、アウトドアを楽しむために年間を通して多くの人が訪れます。山頂にある大沼はワカサギ釣りの人気スポット。夏場はボートで、全面結氷する冬場には氷上穴釣りを楽しめます。また、南麓地域には数軒の温泉宿があり、山菜や川魚料理を提供しています。この地域の温泉の歴史は古く、江戸時代から湯治客に利用されていたという文献が残っています。

伝統を受け継ぎ 次の世代へ

宮城地区にある国指定重要文化財「阿久沢家住宅」をはじめとする文化財、粕川地区・月田近戸神社の獅子舞「月田のささら」、大胡地区の「大胡祇園まつり」の暴れ獅子など多くの伝統行事も地域住民によって受け継がれています。

前橋市はスローシティの考え方の下、この土地が育んできた「スロー」な暮らし、自然や歴史文化、伝統の素晴らしさを再評価し、新たな価値を育みながら、豊かで幸せに暮らすことのできるまちづくりを目指しています。

スローなまちづくり全国推進委員会 <https://slowfriendsjapan.com/>

日本国内におけるスローシティネットワークである「スローなまちづくり全国推進委員会」は、地域の食や農産物、生活・歴史文化・自然環境の多様性と個性を尊重したまちづくりを目指す〈スローシティ〉運動を都市政策の大切な理念として捉え、チッタスロー国際連盟への加盟支援、国内のスローシティ都市の連携促進、スローシティ運動の実践と普及啓発を目指す任意団体です。



「スローシティ」とは？



前橋市の友好都市イタリア・オルビエーロ市などを発祥とする、ヨーロッパを中心に33か国303都市（令和7年2月現在）が加盟する国際的な運動。地域の食や農産物、生活、歴史文化、自然環境を大切に、個性や多様性を尊重する新たなまちづくりを目指す。

※「チッタスロー」が正式名称ですが、前橋市では原則として「スローシティ」を用いています。

